

第4回市民ワークショップ作業シート

A班 <生まれる・育つ>グループ

市民ワークショップでの主な意見	まちづくりの視点・大きな方向性
<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの数は減っているが、低年齢(3歳未満)の入所は厳しい状況である。それは、保育士が不足しているためであり、保育士の確保に努めてほしい。 ○子どもが病気などの時にいつでも預けられる場所や地域コミュニティを構築していきたい。 ○子育て世帯を孤立させないため、近所の高齢者に協力をいただきコミュニティを作ってはどうか。 ○子どもたちへ宿題を教えるなどの学習ボランティアの輪を広げていきたい。 ○子どもを地域に預けたり、地域の方が食事を提供するような場(子ども食堂)があれば、子育て環境の向上に繋がるのではないか。 ○子育ての楽しさを知ってもらう(伝える)取り組みを展開する。 ○使いやすい、利用しやすい子育て施設が欲しい。 ○市内には民間の施設を活用した子育てのコミュニティもある。低額の利用料金(月額100円)で利用しやすい。(ひよこくらぶ) 	<p><行政がなすべきこと></p>
<ul style="list-style-type: none"> ○子育てのしやすいまちが、住みやすいまちであり、結果として人口の増加につながっていくのではないか。 ○子育て中のお母さんたちは疲れている。息抜きが必要。お母さん自身が病気になってしまったら大変。 ○パパ・ママ学級があるように、ジジ・ババ学級があってもよい。自分の親も含め高齢者世代に育児の協力をしてもらうには、世代間ギャップ(子育て常識の相違)の解消を図っていく必要がある。 ○例示にもあるような「子ども食堂」のようなものがあるといい。「子ども食堂」に限らず、「子どもハウス」、「子どもステーション」といった宿題や習い事なども出来て、時間外にも集まれる施設が望ましい。 併せて、循環バス等を運行し、交通アクセスの向上を図ってはどうか。 ○子育て施設だけでなく、意見交換(コミュニティ)の場があってもよいのではないか。 ○農業関係の仕事をしているが、後継者はいるが一緒に働いてくれる配偶者がいないため、事業継続ができないという話を聞いた。農業などに特化した婚活支援を検討できないか。 	<p><協働></p>
<ul style="list-style-type: none"> ○自分は婚活事業を通じて結婚することができた。結果として市外からの移住にもつながった。 ○婚活支援事業の参加者が少ないように聞く。効果的な情報発信も必要。 ○婚活支援には出会いの場の創出が重要。地方だけではマッチングに限界があるため、民間の婚活事業者などとも連携を図っていく必要がある。 	<p><市民にできること></p>

※「まちづくりの視点・大きな方向性」の議論にあたり、これまでの市民ワークショップでの意見のほか、総合計画基本構想骨子案を参考としてください。

第4回市民ワークショップ作業シート

B班 <学ぶ>グループ

市民ワークショップでの主な意見	まちづくりの視点・大きな方向性
<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの人数が減っていて、各学校での行事も盛り上がらない状況であるため、小・中学校の再編を進める。 ○中学校の統合に伴い、廃校になる施設の有効利用を考える(地域への開放や社会教育活動での活用)。 ○各学校単位での部活動が少子化により成り立たなくなっている(チームが組めない)。学校の枠を超えて、体操・バスケットボールのような、クラブチームの推進、体協等と連携して教室等の開設しスポーツの強化策を行う。 ○英語教育が小学校3年生からになることから、魅力(特色)のある英語教育を行い、地域の留学経験者、学生等英語にネイティブな人たちとともに発信し、銚子の学校で英語教育を受けさせたいと親に思ってもらえるようにする(親の心を掴む)。 	<p><行政がなすべきこと></p>
<ul style="list-style-type: none"> ○楽しく英語を学んだ子どもたちが英語での観光案内等銚子の魅力を伝え、外国語ガイド等で就業先を広げていく。 ○スポーツ・ジオパーク・観光を一つにつなげていく。 ・銚子らしさを学んで、新しい分野でのスポーツ(ヨガ・フラダンス等)でプロ選手(世界レベルの団体)を生み出していく。 ・銚子の歴史や美術品等を学び、いろいろな場面で紹介して人を呼び込んでいく。 ・ジオパークを学び広く人を呼び込んでいく。 ・銚子ブランドを学び、いろいろな目線から新商品を作成し、販売する。 ○学校での英語プログラムを学校・教育委員会・外国人の方々や留学経験者・学生等協働で作成し、外国文化に触れるイベントや先生方の補助を行っていく。 ○いろいろなサークルを作って、学校行事・町内行事等地域と結びつく活動を行っていく。 	<p><協働></p>
	<p><市民にできること></p>

※「まちづくりの視点・大きな方向性」の議論にあたり、これまでの市民ワークショップでの意見のほか、総合計画基本構想骨子案を参考としてください。

第4回市民ワークショップ作業シート

C班 <働く>グループ

市民ワークショップでの主な意見	まちづくりの視点・大きな方向性
<ul style="list-style-type: none"> ○雇用の需要と供給のアンマッチについて、どのような業種で人手が不足しているかインターネット等で発信する。 ○空き店舗の活用。 ○新たな雇用の創造。企業誘致等。 ○高齢者の免許返納を促進するための公共交通機関の整備。 ○在宅事業、子連れ出勤が可能な職場作り。 ○廃業・継続事業所を新規創業希望者とマッチングさせる。 ○市や商工会議所などへの情報の提供。 ○都内で企業の就職説明会を行う。 ○事業を次世代に引き継ぐことが難しくなっており、事業所が閉店していく。子や親族だけでなく他者(新規創業希望者)に継承できるよう、また、廃止・継続等について相談できるよう事業所用の窓口を設置する。 	<p><行政がなすべきこと></p>
<ul style="list-style-type: none"> ○お試し農業の支援をし、農業のつらいイメージをなくす。生産する喜び、働いただけお金になる喜びを伝える。 ○就業体験をし、雇用のミスマッチを減らす。 ○就業希望が増えるよう、つらい・大変と思われる仕事の魅力的なところを発信する。 ○UIJターン希望者の生活面での受け入れをサポートする。 <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関がUIJターン希望者用の特別な融資制度をつくる ・シェアハウスの提供 ・仕事に限らず、若者が帰ってきたいと思う魅力的な商業施設や遊ぶ所もないので、そのような施設を作ってもらいたい ○地域の産業やお店を盛り立てよう利用する。 <ul style="list-style-type: none"> ・観光客だけでなく、銚子市民もお店をよく知らないのではないかと思われるのでグルメマップを作る(更新も必要だが) 	<p><協働></p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の終了を一番先に知るの、取引をしている金融機関ではないか？なので、事業終了の相談を金融機関にしたときに、その情報を行政や、商工会議所に伝え、求職者に発信ができれば後継者が現れるのではないか ・犬吠WAONカードを利用すれば、その一部が寄付として収入になるので、イオンだけでなく街中のお店でももっと使えるようになればいいと思う ・空き店舗があるのはさみしいので、週末に千葉科学大生がカフェをやる ・産業やお店を盛り立てるには人(銚子に住んでくれる人・観光客)を増やす必要がある。そのために、SNSなどを使い、外に発信することが有効的であると思う。銚子には、観光資源や食資源は豊富にある 	<p><市民にできること></p>

※「まちづくりの視点・大きな方向性」の議論にあたり、これまでの市民ワークショップでの意見のほか、総合計画基本構想骨子案を参考としてください。

第4回市民ワークショップ作業シート

D班 <老いる・死ぬ>グループ

市民ワークショップでの主な意見	まちづくりの視点・大きな方向性
<ul style="list-style-type: none"> ○少子化、高齢者が増える →社会保障が崩壊する？老老介護、孤独死が増えるのでは？ ○健康な生活を送りたい。 ○家族、地域とのつながりを持っていたい。 ○年金など金銭的な不安があり、貯蓄しなければならないと思う。 ○今は日々忙しく過ごしているので、老後はボランティアや同じ趣味の仲間と過ごしたい。 ○セーフティネットはきちんと維持してもらいたい。 ○子育て支援を今こそ充実させるべき。 ○内向的な方、外向的な方でも変わってくる。 →外向的な方であれば、自分から趣味をやりましょう、外に出ていきましょうとなると思う。一方で、内向的な方はそうはならない。病気で、内向的な方はどうすればよいか考えた。そういう方への行政、近所のあり方は改めて考えなければいけない。一つの答えはなく、個々に合ったケアが必要。 	<p><行政がなすべきこと></p>
<ul style="list-style-type: none"> ○自分らしく生きることが大事。「どう生きたい」、「どう死にたい」を支援する体制があったらよいのでは。 ○高齢の方の中には薬をたくさん飲む方がいる。こうした方の中には薬を飲むためにご飯を食べないという方もいる。→果たしてそれで良いのか。 ○地域密着で子どもと触れ合うイベントがあれば、充実した老後を迎えられるのでは。 ○今の世代はインターネットで会話しているので、高齢になると面と向かって話すことができないのでは。ふれあいの場所づくりが一番大切ではないか。 ○自分は母も障害があるので、ヘルパーに来てもらって暮らしている。ヘルパーの方は50代から70代の方が多い。10年後にやる人がいなくなってしまうのでは。どうなるのか不安。 ○車に乗れるが、年を取ったら、乗れなくなる日が来る。・乗合タクシー、バスがあったらよい。・介護タクシーのタクシー代が高い。行政で対応を。 	<p><協働></p>
<ul style="list-style-type: none"> ○市立病院をもう少し対応できるような病院にしてもらいたい。 ○必要とされること(家族から、地域から必要とされることで生きる力、活力になる) ○医療機関・システムが地域の現状にそぐわない現実・・・総合診断医の必要性 ○予防視点と病後視点の両方からの医療と介護 	<p><市民にできること></p>

※「まちづくりの視点・大きな方向性」の議論にあたり、これまでの市民ワークショップでの意見のほか、総合計画基本構想骨子案を参考としてください。

第4回市民ワークショップ作業シート

E班 <家庭・近隣>グループ

市民ワークショップでの主な意見	まちづくりの視点・大きな方向性
<p>コンセプト 『多世代のコミュニティづくり』 町内のご近所グループだけでなく、興味や目的を共有した「ご近所コミュニティ」を重層的につくる。</p> <p>背景 ○子供、母親のコミュニティがない→共働きで、土日休みのため、「子育て広場」もやってない。息子に剣道をやらせたいが、教室等の所在がわからない ○地域資源を守る活動が浸透してない→西部地区の盛り上がりがイマイチ少なく感じている。高田川(一級河川)の美化等イベントを開催しているが参加者が少ない。引っ越した当初は地域に馴染めず、葬式のしきたり等もわからなかった</p>	<p><行政がなすべきこと></p>
<p>ニーズ ○仕事をしている母親でも参加できるコミュニティがほしい→参加しやすい定例の子供会、母親会など、関わる場所が必要。働いている母親も地域の輪に入っていきたい ○若者の居場所が欲しい ・子供や若年層が遊べ、「見守る人」が交流できるきれいな施設。必要とされる場所がほしい(自己承認欲求) ○「高田川と共存する会」のイベントに多くの人が集まってほしい。(若年層に参加してほしい *SNSでの情報拡散等協力してもらいたい)</p> <p>行政 ★地域コミュニティ内の「見える化」を進める制度づくり ○広報や公共施設等と連携した情報発信方法や地図づくりを工夫する ・子育てLINEを通した母親のコミュニティ情報発信。オリジナルハザードマップ 等 ★「西部地区」の盛りあがりテーマに市職員や若手PTから意見聴取</p>	<p><協働></p>
<p>市民 ★活動の「見える化」 ○大学生を受け入れる機運醸成 ⇒ 大学生や若年層が地域に飛び出す！ ○町内のイベント等に学生が参加していることを拡散 ⇒ 参加の門戸拡大 ★地域のサークル活動に対する支援(各町内会)</p> <p>協働 ★状況の「見える化」 ○助けてステッカー・大きなお世話ステッカーの作成(状況と情報を結びつけるための働きかけ) ★地域コミュニティづくり ○スポーツや漫画を通したコミュニティづくり ～参加のハードル下げ～ ・地域のスポーツ有識者と移住者、若年層、高齢者を結びつける連携。銚子に「モノ」がなければ「ヒト」を発掘する仕組み考えていく。</p>	<p><市民にできること></p>

※「まちづくりの視点・大きな方向性」の議論にあたり、これまでの市民ワークショップでの意見のほか、総合計画基本構想骨子案を参考としてください。

第4回市民ワークショップ作業シート

G班 <産業（都市環境）・自然>グループ

市民ワークショップでの主な意見	まちづくりの視点・大きな方向性
<p>○行政</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報が集まる場の提供 ・市内の求人を出すサイト ・異業種間交流の情報一元化(ビジネスマッチング) ・外国人の雇用についてサポートする場 ・銚子観光ツアーガイドの外国人対応(英語・中国語・韓国語など) <p>○協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Free Wi-Fiの設置 ・空家を外国人や市外からの移住者へ貸す ・新婚旅行で銚子(日本)へ来てもらう <p>○市民</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西部地区の良さをアピール ・沢山のフォトスポットで集客 ・観光情報の一本化 ・4つの駅の利用 ・市内美化計画(清掃し常にまちをきれいに) ・企業間マッチング ・定年後の受け皿 ・市内で体験できるアクティビティの発信 ・農業経営の可視化 ・後継者を求めている企業・農家・漁業者の情報を全国へ発信 ・小中学校の段階でもっと地元を好きになる活動 	<p><行政がなすべきこと></p>
<p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔は、行政にお願いしてきた事が、現在は財政状況などでお願いできない状況。しかし、それを補うのがボランティア活動。地域活性化につながる環境活動を行いたい。それには、自分たちの活動を知っていただき、ぜひ一度足を運んでいただきたい。 ・銚子と言えば、海・魚・灯台。昔はそれで良かったが、今はそれでは人が集まらない。観光地はリピーターを作る事が大事。自分たちには、当たり前(つまらない)モノでも、他の人が見ると興味を持って集まる場合がある。例えば、サケが川を遡上する姿を神栖市や山武市から見に来る人がいて、案内したこともある。 ・余山貝塚→高田川→中島城跡→白石ダムのように点と点でつながないとダメ。やりたい事はたくさんあるが、人が不足している。昔は、山遊びなど自然と遊ぶ機会が多くあったが、今の人たちにも味わってもらいたい。きれいな自然を維持するには、月に一度のボランティア活動(清掃活動)が必要。 	<p><協働></p>
<p>“足りない資源はヒト”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人を呼ぶのに自分たちではインスタなどのやり方が分からないので、情報発信することができない。場所(モノ)はあるが、情報発信ができていない。 ・魅力のある食べ物が一つでもあれば、学生や若者は、それを求めて銚子に来て食べる。遊ぶ。値段はそれほど気にしていない。値段以上のモノや見た目があれば人気がでると思う。 	<p><市民にできること></p>

※「まちづくりの視点・大きな方向性」の議論にあたり、これまでの市民ワークショップでの意見のほか、総合計画基本構想骨子案を参考としてください。

第4回市民ワークショップ作業シート

H班 <広域連携>グループ

市民ワークショップでの主な意見	まちづくりの視点・大きな方向性
<p>○広域幹線道路網の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・銚子と県、銚子と国だけで話し合いを進めてしまうと、物流が軸となった直線的な道路の整備となってしまうが、近隣市町村も含めて協議することで、市と市をつなぐ道路網の整備が可能となり、交流人口の増加が見込まれる。 ・道路網ではないが、歴史を紐解くと銚子が栄えていた頃は「利根川」を活用した物流が主流であった。現在は、全く活用していないが「利根川」の活用を見直すことで銚子を栄えていた時代に甦らせることが出来るのではないか。例えば、水陸両用バスを走らせて観光客を集客する。災害時に陸地ではなく、「利根川」を活用した物資の搬送をする。東京で災害があった際、銚子に備蓄庫を作っておき、そこから「利根川」を使って緊急物資の搬送をするなど。 	<p><行政がなすべきこと></p>
<p>○公共交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成田空港までの交通手段が現在は「電車」しかなく、不便。成田空港を拠点とすることで、そこから観光客の回流が見込まれる。2020年東京オリンピック・パラリンピック等で、外国人も多く成田空港に降り立つので、銚子・成田空港直通のバスを走らせるべき。 ・バス会社は、儲かる見込みのある路線しかバスを走らせない。人口が減少して、銚子市内でも公共交通の利用が少ないので成田空港直通バスは難しいのではないか。 <p>○国際交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市には、科学大の留学生、水産業・農業の実習生など多数の外国人が暮らしているが、外国人同士のつながりが無い ・留学生は大学がコミュニティの場となっているが、就労目的の外国人にはそういう場が無いので、国際交流協会がそういう場となることを望む ・留学生に「観光大使」のような役割を持たせ、自国へ銚子のPRをしてもらう ・銚子の既存のまつりに外国人の文化(おどり等)を組み込んで開催してみてもどうか。 ・銚子の人にも「国際人」を目指すべき! ・市内に在住する外国人(千葉科学大の留学生等)に自国等に向けた銚子のPRをしてもらった方が、著名人のふるさと大使よりも世界に向けての発信が有効なのではないか。 ・国際交流協会を早く立ち上げてほしい。 	<p><協働></p>
	<p><市民にできること></p>

※「まちづくりの視点・大きな方向性」の議論にあたり、これまでの市民ワークショップでの意見のほか、総合計画基本構想骨子案を参考としてください。